



metodista  
livre

フリーメソジスト教会  
日経委員会

# まず、神の国を

まず、神の国を求めなさい...

## 招待状

各、ブラジル日経委員会フリー・メソジスト・教会 (IMEL) の兄弟姉妹たちへ、清め、聖書の啓示、愛に導かれた義、支え心、キリスト中心の拡大するために一緒に集いましょう。

始めに、皆さんとご一緒に10日間祈りと断食で神様を求めましょう。これらの日に、信仰の復興と、私たち・教会・委員の改革を求める機会だと思います。そうすれば、イエスは少ないパンと魚で数をますます増えさせ、満足感だけではなく、溢れ出る喜びに満たされると信じます。





## まとめ

一日目：将来の啓示

二日目：受け入れられた忠実

三日目：義なる神と生きる

四日目：伝道家庭

五日目：御国との協力

六日目：希望は一緒に

七日目：復興と改革

八日目：世界的運動

九日目：天来のメッセージ

十日目：最終贖い

## イントロダクション

どのように神様の夢をかなうことができるのでしょうか？

私たちはもの凄いスピードで変化が起きている時代にいます。すべてが定まらないで、教会内外では人間を中心としていきています。そのため、この時代に生きるために準備と対応が必要であります。

2021年には「フリーメソジストである」課題で、神の国としての五つの品性を瞑想しました。そこで、世界的復興と改革が始まりました。

2023年につきましては、十日間、祈りと断食によって、もう一度、「フリーメソジストである」ことを振り返ります。これを読んで、瞑想し、行ってください。また、説教や、自分自身の人生、家庭、教会、社会でも実施してください。

阿部ダニエル－日経委員  
2023年春。

次に、祈りと、心の追及で信仰の復興と人生の改革を求めましょう。次の質問は瞑想に手助けすると思います。また、成長にもつながるとおもいます：

- ① どの言葉があなたに一番印象的でしたか？
- ② どのように私たちに信仰の復興と人生の改革が起こるのでしょうか？
- ③ 神様との関係を保つためにどのような妨害があるのでしょうか？どのようにそれを乗り越えるのでしょうか？
- ④ どうして日経フリーメソジスト委員会に参加することが大切なのですか？どうして小さいグループに参加することが大切ですか？どうして、私は参加しないのでしょうか？
- ⑤ どのように教会は世界を変えるのでしょうか？
- ⑥ フリーメソジストのミッションにどのようにあなたは個人的な手助けをするのでしょうか？
- ⑦ どのようにあなたの日常生活でイエスの再臨と永遠が影響するのでしょうか？

2023年チーム

## 私たちは信仰の復興と改革が必要です

復興とは霊的復興を意味します。それは、心と考えの回心と霊的死からの復活を意味します。また、改革は、アイデアや考えの整理、習慣と行動の再調整です。プロテスタントの改革の「**Ecclesia semper reformanda est**」はいつも教会は改革にしなければいけません。なぜなら、憂鬱からいつも出ないといけないからです。

教会は人です。あなたもその教会の一員です。みんな贖われた罪びとで、清めの道を歩んでいます。復興と改革はそれぞれの人生に実施しなければいけません。教会は復興と改革を経験するときは、私たちがあまりにも頑なにしたことをやわらげ、やわらげすぎたものをもう少ししっかりすることです。

一緒に祈りましょう。今日も、勝利を求めましょう。イエスは私たちの友です。みんな一緒に交わりをもち、関係をたもち、ミッションに生きなければいけません。毎日、一日の始めに、神様を求めましょう。使徒たちの模範を目標にし、教会の礼拝と小さいグループにおいて、友情関係を強めていきましょう。

最後にあなたの能力と持っているものをイエスに人生を明け渡すために励み、バプテスマを受けて、教会に属するように働きかけましょう。

カルモ・リベイロ牧師

## コミュニティとして生きる必要

ウェスレーは組織に対していつも心配をしていました。彼は多くの人に伝道を伝えるために良い組織をつくるように励みました。ウェスレーはモラヴィア兄弟団と謙虚主義と探求しました。

健康的な交わりと神の国の証を持つ教会を育てるには、ウェスレー団はクラスに分けていました。また、小さいグループをもとにイエスの弟子と清めを育てました。

小さいグループはとても大切です。なぜなら、信仰を伝えてるからです。ただ、知識だけではないのです。互いの生き方でいっぱい覚えるものがあります。本を読むだけではためなのです。文化の力はコスモビジョンよりも強いのです。

ですから、自分の意識だけを変えるだけでは足りないのです。なぜなら、意識は文化に弱いからです。

司教イルド・メロ、ブラジル委員



# 1日目 将来の啓示

『翌朝早く、ユダ軍はテコアの荒野へ兵を進めました。途中、ヨシヤパテは立ち止まって指示を与えました。「私の言うことを聞き、主を信じなさい。そうすれば、勝利は間違いない！ 預言者のことばを信じなさい。そうすれば、すべてはうまくいく」』第二歴代誌 20：20。

『人々が、「万事順調で、平穩無事だ」と言っているような時、突然、災いが襲いかかるようにやって来ます。それはちょうど、出産の時、母親に陣痛が襲うのと似ています。その災いから逃れることができる人はいません。身を隠す場所など、どこにもないからです。しかし、皆さん。あなたがたはこのことについて、皆目わからない暗闇の中にいるわけではないのですから、主の日が来ても、強盗に襲われたようにあわてふためくことはありません。あなたがたはみな、光の子ども、真昼の子どもであって、暗闇や夜に属する者ではないからです。』第一テサロニケ 5：3-5。

『天地は消え去りますが、わたしのことばは永遠に残ります。しかし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天使はかりか、神の子さえも知らないのです。ただ父だけがご存じです。ちょうど、ノアの時代のように。当時の人々は洪水が襲う直前まで、宴会だ、結婚式だと陽気に楽しんでいました。何もかも押し流されてしまうまで、洪水のことなど信じようとしなかったのです。わたしが来る時も、それと同じです』マタイ 24：35-39

イエス・キリストは生きた言葉です。聖書は神様の啓示に対して忠実で、すべてにおいて真実です。この言葉は忠実に保たれ、人間の経験をもとに判明されました。聖書は神様から受けたインスピレーションをもとに書かれ、それぞれの生きた時期をもとに書かれました。神様は、聖霊の啓示をもって、言葉を使って、人々と文化へと語り継がれます。聖書は人間の人生に関してすべてのことについて語られます。言葉は神様の真理を語り、創造、民、一人子、人類の未来を語ります。救いの道と信仰の人生をも語ります。聖書以上で語られるものは救いについての追加や信仰は取り除かなければいけません。

### **聖書は信頼できる書物です**

信頼は大切です！信頼できる人と一緒にあれば、どのようにあなたは感じますか？

聖書は人間が考えた書物ではなく、神様の高い考えをもとに書かれたものです。（イザヤ55：8－9）

『なぜなら、聖書にある預言のことばは、預言者がかってに考え出したものではないからです。それは、これら神を敬う人の心に住まれる聖霊がお授けになった、混じりけのない神からのことばなのです』第二ペテロ1：20－21。

## 聖書は私たちの土台です

パウロがテモテへ聖書が私たちの土台と思い出させます。土台は私たちに安定とサポートを与えるのです。パウロは言います「あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、この建物の最も重要な礎石はキリスト・イエスです。私たち信じる者は、聖なる神殿を目指す建物として、共にキリストにあって組み合わされて成長していくのです。あなたがたもまた、キリストにあって共に建てられ、聖霊によって神の住まれる所となるのです」。私たちの土台が彼らに据えていくことが大切です。

教訓は聖書から来るものです。ベニヤミン・テトス・ロバートは、フリーメソジスト教会の創設者はこう言いました「聖書はすばらしい書物です。もっと読むと、もっと感激します。いつも新しいものを見つけます。どれくらい種をまくかで、もっと生産が上がるのです。もっととると、もっと育つのです。もっと金を掘り当てると、もっと金がでるのです。ある本は読み終わると、面白くなくなります。けれども、聖書は違います。どの人類にも当てはまり、こんにちにも当てはまります」

『今日与えるこれらのことばを、一時も忘れてはいけません。子どもたちにも、しっかり覚えさせなさい。家にいるとき、外を歩いているとき、寝る前、朝起きたとき、いつでもまず第一に暗唱させるのです。忘れないように手に結び、額につけ、家の門柱に記しなさい』申命記6：6－9。

## ミッションへの行動

ページマークで、五人の人の名前を書いてください。これらの方はイエスを知らないといけない方です。毎日、10日間、彼らのために祈ってください。このページマークを聖書においてください。

## 断食と祈りの目的

- ① 聖書への追及を持つこと
- ② 聖霊が私の人生と家庭に働くこと
- ③ 五人の友人がイエスを信じること

祈って、断食してください：この時、天の父なる神様と話してください、そして、あなたの言葉を通して、下のモデルを利用してください。

感謝と賛美：父なる神様、あなたの言葉を賛美します。なぜなら、あなたの言葉は忠実で、真理であり、私の人生の歩みを光らせます。あなたを感謝するのは、次のことです（・・・）

告白：あなたは私のすべてを知っていて、そして、この（・・・）に恵と聖霊の働きが必要です

言葉を通して祈る：『ああ神よ。どうか、きよい思いと正しい願いで満たされた、新しいきれいな心にしてください。私を見捨てて、永久に御前から追放してしまわれることがありませんように。聖霊を私から取り上げないでください』詩篇51：10、11。

純粋な心：私を清めてください！私の内に宿ってください！

徹底した霊：神様、あなたを感謝します。なぜなら、あなたが私をサポートするからです。

あなたの聖霊：父よ、あなたの聖霊を与えてください！すべての真理に導いてください！

祈る：リバイバルのために祈ってください。日経フリーメソジスト教会の改革と今日の祈りのためにも。

個人的願い：神様に友人のように心を開いてください。





# 2 日 目 | 受け入れられた忠実

『あなたは、神から、「よくやった」とおほめのことばがいただけるように、熱心に励みなさい。神があなたの仕事ぶりを評価される時、胸を張っていられるような働き手になりなさい。そのために、聖書が教えていること、意味することを学びなさい。』第二テモテ 2 : 15。

『天地は消え去りますが、わたしのことばは永遠に残ります』マタイ 24 : 35

『いいですか。ただ聖霊だけが永遠のいのちを与えてくださいます。肉体的にこの世に生まれただけでは、永遠のいのちはいただけません。今わたしがあなたがたに話したのは、まさにこのことで、どうしたら、ほんとうの霊のいのちをいただけるかということなのです』ヨハネ 6 : 63

『私がおことばを深く味わい、心にたくわえました。それによって罪から遠ざかるためです』詩篇 119 : 11

『あなたのご計画が明らかにされると、それは心の鈍い者にさえ理解できるので』詩篇 119 : 130

『神のことばは生きていて、力があります。それは鋭い刃のように切れ味がよく、心の奥深くに潜んでいる思いや欲望にまでメスを入れ、私たちの赤裸々な姿をさらけ出します』ヘブル 4 : 12

『この世がいかに人間のすぐれた知恵を結集しても神を見いだせないのは、神のお考えによることです。そして神様は、愚かで話にならないような神のことばを信じる人を、救うことにされたのです』第一コリント 1 : 21

『エズラは、主の律法を学んで実行し、教師となってイスラエル中に律法を教え広めようと心に決めていました』エズラ 7 : 10

聖書は私たちが鍛錬します

私たちがなぜ聖書の民でなければいけないのは、私たちが自然的に自己中心になりやすいからです。そのため、聖書を読んで、世界を明確に見なければいけません。あなたはこれが必要ですか？必要です！あるとき、礼拝で聖書が読まれたとき、私自身に聖霊が語っているのを感じました。主は私が言葉を聞くのを大切だとわかっていたからです。「信仰は、キリストについてのことばに耳を傾けることから始まるのです」ローマ10：17。

「罰を受けた当初はだれも気持ちがよいはずはなく、むしろ傷つけられたと感じるものです。しかしあとになれば、それが自分の益となり、すべての面で良かったことがわかります」ヘブル12：11

聖書は間違いを修正します

イエスによって神の恵みが必要であることは、内なる罪と神の愛の戦いの中から生まれる結果です。しかし、それだけではありません。聖書は教会の間違いを修正します。旧約聖書から新約までには、間違いから離れさせ、真理に生きるように仕向けます。こんにち、何が悪いかを把握するのは難しいですね。信仰をたもつのは難しいし混雑します。毎日、神の声でないものにうなされます。そして、いつしか、この声に囚われてしまいます。

どこで間違っているかを把握できるのでしょうか？聖書を私たちにに向けて読んで、また、信頼する兄弟姉妹と一緒に信仰を強めることです。たとえば、教会にいて聖書を読むのと、一人で聖書を読むのには違いがあります。情報は聖書を勉強するごとに得ます、けれども、聖書が私たちに勉強させると修正があります。ですから、聖書を理解して、とても不思議な書物で、私たちに毎日何を話しているかを把握すれば、私たちの心は変えられます。車の運転手と席に座っているの違いです。席についている人はどのルートをいつているのかを把握しません。そして、危険を把握しません。もし、運転手であつたら、回りに起こっていることに気をつけます。また、危険や問題について気をつけます。

聖書はイエスを啓示します

聖書は「イエス・キリストを語る誤りのない生きた御言葉です」。  
「まだこの世界に何も無い時から、キリストは神と共におられました。キリストは、いつの時代にも生きておられます。キリストは神だからです。このキリストが、すべてのものをお造りになりました。そうでないものは一つもありません。キリストには永遠のいのちがあります。全人類に光を与えるいのちです」ヨハネ1：1－4。

神の御言葉を愛することによって、イエスに深い愛を示すことはなんと素晴らしいことでしょう。聖書の深みに入ると、どれくらい教会が変えられることでしょう。

### ミッションへの行動

五人の友人に Whatsapp や、電話したり、メールを送って、友情関係を感じてみましょう。彼らのために祈っているとっておきましょう。

### 断食と祈りの目的

- ① 強い信仰と聖書の真理を語ること
- ② フリーメソジスト教会日経委員会への聖霊の力
- ③ 5人の友人のために

祈って、断食してください：この時、天の父なる神様と話してください、そして、あなたの言葉を通して、下のモデルを利用してください。

感謝と賛美:天の父なる神様、あなたの慈悲を感謝します。あなたの御名をあげます。軍の主よ、あなたは勝利者です！あなたを感謝します、なぜなら、（…）

告白: 困難に対して霊的武具が必要です、また、  
\_\_\_\_\_ (あなたの言葉で付け加えてください)

言葉を通して祈る：「あるいは、わたしがこの地に憤りを注いで疫病をはやらせ、その災害で人間も動物も死ぬとき、たとえノアやダニエルやヨブが生きていたとしても、わたしが言うとおりに、その思いや行いの正しさのゆえに救われるのは彼らだけだ」エゼキエル14：20。

ノア：愛する神様、ノアのように、私の家にも救いがありますように。

ダニエル：ダニエルのように私を愛をもって見ていることを感謝します。

ヨブ：天の父なる神様、ヨブのように見えるようにしてください。

祈る：世界に虐待を受けているキリスト者のために祈り、また、今日の祈りのためにもしましょう。

個人的願い：神様へ友人のように心を開きましょう。



# 3 日目 | 義なる神と生きる

『これから先、出会うことになる苦しみを、恐れてはなりません。悪魔は、信仰を試そうとして、まもなく、あなたがたのうちの何人かを牢獄に投げ込むでしょう。そして、あなたがたは十日間、苦しむことになります。しかし、たとえ死に直面するようなことになっても、最後までわたしに忠実でありなさい。そうすれば、いのちの冠（終わりのない栄光の未来）をあげましょう』黙示録2：10

『信仰によって、愛する者を死者の中から生き返らせていただいた女たちもいました。また、さらにすばらしいのちに復活するために、釈放など願わず、むち打ちや死刑に甘んじた者たちもいました。彼らは神を捨てて自由の身となるより、むしろ死を望んだのです』ヘブル11：35

『あなたがたは、世の人にひどく憎まれます。だが忘れてはいけません。あなたがたより先に、わたしが憎まれたのです。あなたがたが世の人と同じであつたら、世もあなたがたを愛したでしょう。だが、そうではありません。わたしがあなたがたを選び、世から連れ出したのです。だから、世はあなたがたを憎むのです。『使用人は主人より偉くはない』と言ったのを覚えているでしょう。わたしを迫害した人々があなたがたを迫害しても、何の不思議があるでしょう。ごく当然のことです。わたしの言うことを聞く人なら、あなたがたの言うことも聞くはずです』ヨハネ15：18—20

『確かに、キリスト・イエスの教えにそって、神を敬う生活を送ろうとする人はみな、敵対する者から苦しめられ、迫害されます』第二テモテ3：12

『わたしのために、総督や王たちの前で取り調べられるでしょう。その時、わたしのことを彼らと世の人々にあかしすることになります。逮捕されたら、どう釈明しようかなどと心配することはありません。その時その時に適切なことばが与えられます』マタイ10：18、19。

## 追加活動？

ある人は伝道は教会の仕事で、社会活動は世のものだと思います。これを別々に考えると私たちのミッションを区別してしまい、キリストが本当に成し遂げに来た目的を誤ってしまいます。それは良い知らせを挑戦的な形で伝道を行い、また、慈悲を持つことでもあります。イエスはそれを成し遂げて、弟子たちも同じようにするように仕向けます。私たちは愛をもって義を行い、また、社会運動だけが伝道だと思っははいけません。

社会運動は「義をもって、金、機会、優先を平等に分け与える」とオクスフォード辞書に書いております。これが伝道だと考えれば、区別が作り出されます。そして、社会的運動一人がみんなを自由にさせると思います。けれども、神の王国は神様との正しい関係を意味します。それは人々と社会の中で正しい関係を作ることでもあります。

## 聖書に基づく義

正しさはヘブライ語で「ツエダカツ」と呼び、正しい関係を持つことでもあります。それはみんな平等に関係をもち、寛容さに生きることでもあります。チン・ケラーの本「Generous Justice」では、「ツエダカツ」を初期の義と呼ばれます。それは「ミシュパット」（義への修正）はみんなが正しく生きれば、必要ないと言います。

聖書の愛によって仕向けられる義は、伝道と慈悲の交わりです。神様が私たちの方へ愛と慈悲で向けられると、彼の愛によって変えられ、社会からのけ者にされている人たちに目を向けます。なぜなら、イエスはのけ者にされた人に近づき、恵、愛と慈悲をみせました。彼が近づくと良い知らせを全員に語りました。愛に仕向けられた義はイエスを中心にします。弟子たちには、特に、キリストのメッセージと生き方を反映することです。聖書は神様は貧乏に対しての興味と義と正しさに興味を持つ人にも気にすると書いています。

外人に対して：

『あなたがたの間に住む在留外国人の弱みにつけ込んだり、虐待したりしてはならない』レビ19：33

弱いもの・貧しいもの・身寄りのないものに対して：

『貧しい者、悩む者、身寄りのない者、日々の暮らしに事欠く者を公平にさばけ』詩篇82：3 『正しい裁判をして、貧しい人や困っている人を助けてあげなさい』箴言31：9

## 弱いものを守る：

『正しいことに打ち込み、貧しい人やみなしご、気の毒な未亡人を助け、人並みに扱いなさい』イザヤ1：17

慈悲になる責任に対して：

『それから、主からゼカリヤに、次のようなことばがありました。「彼らにこう言いなさい。正直に公平にふるまえ。わいろを取ることなくだれに対しても情け深く、親切にせよ。未亡人や孤児、外国人や貧しい人を虐げることをやめ、互いに悪をたくらむな、と彼らに告げなさい』ゼカリヤ7：9、10

清めと、正しさと神さまの義を示すには：

『神は望んでいることをあなたに告げました。すなわち、えこひいきせず、公平で、あわれみ深くあること、また、謙遜にあなたの神と共に歩むことです』ミケア6：8

天の父なる神様が受ける宗教：

『父なる神の目から見て、純粹で汚れのない信仰とは、みなしごや未亡人が困っていれば世話をし、この世から自分をきよく守ることです』ヤコブ1：27

## ミッションへの行動

あなたの友人五人に神様の言葉の勉強の時、社会からのけ者にされている方を助けることを語ってください。また、上記の聖書の箇所、聖書に基づく義の箇所を利用してください。

## 断食と祈りの目的

- ① 神の言葉の瞑想によって清められること
- ② 人への愛と神への愛をもっと深めること
- ③ 5人の友人のために

祈って、断食してください：

この時、天の父なる神様と話してください、そして、あなたの言葉を通して、下のモデルを利用してください。

感謝と賛美: 天の父なる神様、あなたの御言葉を通して知ることができて感謝します。今日の感謝することは…

告白:私あなたの言葉を聞き、実施したいです。この（罪）を手放すことができますように。

言葉を通して祈る:『わたしの教えを聞いて、そのとおり忠実に実行する人はみな、堅い岩の上に家を建てる賢い人に似ています』  
マタイ7：24

聞いて、実効する：

主よ、あなたの恵によって成長したいものです。あなたの知恵を聞いて、実施することができますように。

正しい人：正しい人になるように助けてください。あなたの霊を与えてください。

岩の上の家：主よ、私の命をあなたの真実に土台が据えるように。あなたの証人となるようにお願いします。

祈る:世界に義にかけている人のために祈り、また、今日の課題にも祈ってください。

個人的願い: 神様へ友人のように心を開きましょう。





# 4 日 目 | 伝道家庭

『もし主に従いたくなければ、たった今、だれに従うかを決めなさい。ユーフラテス川の向こうで先祖が拝んでいた神々であろうが、この地に住むエモリ人の神々であろうが、好きに選ぶがいい。しかし、私と私の家族とは、あくまでも主に仕える』ヨシヤ24：15

『愚かな人は主の教えをさげすみます。両親の忠告に従いなさい。そうすれば、あとになって人々にほめられるようになります』箴言1：8、9。

『家を建てるのは、仕事がうまくいったからにしないで』箴言24：27

『両親にもひとこと言っておきます。子どもを、いつもうるさくしかりつけて反抗心を起こさせたり、恨みをいだかせたりしてはいけません。かえって、主がお認めになる教育と、愛のこもった助言や忠告によって育てなさい』エペソ6：4

『今日与えるこれらのことばを、一時も忘れてはいけません。子どもたちにも、しっかり覚えさせなさい。家にいるとき、外を歩いているとき、寝る前、朝起きたとき、いつでもまず第一に暗唱させるのです』申命記6：6、7

『若者よ。親の言いつけを守りなさい』箴言6：20

『自分の親族、ことに家族を顧みないような人は、クリスチャンと呼ぶわけにはいきません。神を知らない人よりも悪いのです』第一テモテ5：8

もう一度イエスのモデルに付き従う：愛によって導かれる。神様は私たちが家族の中に生活するように召されました。家庭と救いの計画はつながっているのです。

もし、これで必要でないならば、山頂の説教ではイエスは言います『「隣人を愛し、敵を憎め』とは、よく言われることです。しかし、わたしは言います。敵を愛し、迫害する人のために祈りなさい。それこそ、天の父の子どもであるあなたがたに、ふさわしいことです。天の父は、悪人にも善人にも太陽の光を注ぎ、正しい人にも正しくない人にも分け隔てなく雨を降らせてくださいます。自分を愛してくれる人だけを愛したからといって、取り立てて自慢できるでしょうか。悪人でも、そのくらいのことにはしています。気の合う友達とだけ親しくしたところで、ほかの人とどこが違うと言えるでしょう。神を信じなくても、そのくらいのことにはだれでもします。ですから、あなたがたは、天の父が完全であるように完全でありなさい』マタイ5：43-48。

愛が義をもとに、平等な行動をとるためには活動的なものです。動きです。止まりではないのです。1860年に創設された差別反対運動は今でも続きます。「Ordaining Women」（女性を選択する）ではB.T.Robertsは1891年に始めましたが、これで平等というわけではありません。預言者がいう「外人」は今でも変わりません。そして、奴隷解放の働きも今でも終わっていません。

B.T.は不平等社会は受け入れませんでした。

ロバートは愛が義をもとに、平等な行動をとるに関して、偽造の裁き、不平等、不義、虐待、悪の場所にいつも行っていました。

愛が義をもとに、平等な行動はこれから生まれる方、虐待された人に向けられます。愛が義をもとに、平等な行動は、弁護し、影響し、声を上げます。いうならば、聖書の義・慈悲・真実に、まだ、起こされていないのです。私たちは心で、何か社会妨害を壊さなければいけないことを認識しなければいけないのです。

### 将来を見直す

『神を知らない民は好き勝手に振る舞い、手がつけれませんが、国中の人が神の教えを守ろうとする国は幸いです』箴言29:18。  
ビジョンは神から来るもので、民を一つにします。

日経委員会のミッション：ブラジル教会で、日経教会として生まれました。主からもらった人種は感謝します。そのため、日経人に対して私たちの責任を認識し、ブラジルで日系人への伝道を励み、ブラジル国で働きかけます。そして、すべての人類にイエスの伝道を渡す責任も受けています。あなたが、もう一度、イエスのモデルに立ち返るよう推薦します。それは愛が義をもとに、平等な行動に導かれ、イエスの希望に頼ることです。

### ミッションへの行動

あなたの5人の友人を家に誘って、家族と一緒に食事をとってください。

### 断食と祈りの目的

- ① 父親たちが聖霊でいっぱいになるように教会のために祈りましょう

- ② 神様に祈る子供と神様の証を行動で示す父親たちになることを
- ③ 家族と共に食事をする5人の友人のために

祈って、断食してください：

この時期に天の父なる神様に祈ってください。  
そして、次の祈りのモデルを使ってください：

感謝と賛美: 天の父なる神様、あなたの御名を崇めます。なぜなら、あなたの救いの計画が私の家庭も含め、すべての人類の家族にも広められるからです。あなたを感謝するのは…

告白: この大いなる愛に対して、何をあなたに与えられるのでしょうか？私の心を捧げます！これらを取り除いてください…

言葉を通して祈る: 『彼の宣教によって、再び父と子が結び合わされ、一つ心、一つ思いとされる。彼らは、もし悔い改めないならわたしに来て、この地を完全に打ち滅ぼすことを知るからだ』マラキ4：6。

彼は変えます

父よ、私の心を変えて、あなたの御手による器となるように、お願いします。

父親たちの心が子供へ

始めは親たちが変わらないといけません。この奇跡を起こしてください、主よ！

子供の心が親に

教会の子供と若いものがあなたの力で満たされて、イエスの性格を表し、世界に影響を与えてください！あなたの栄光のために！

祈る：あなたの友人の家族のためにも祈ってください！そして、今日のための祈りも！

個人的願い：あなたの心を友人のように心を開いてください。

# 5 日目 | 御国との協力

『彼らは、使徒たちの教えをよく守り、聖餐式（パンと杯によりキリストの体と血の祝福にあずかる、キリスト教の礼典の一つ）や祈り会に加わっていました』使徒 2 : 4 2

『だれもが心から神を恐れ敬うようになり、また、使徒たちは次々と奇跡を行いました』使徒 2 : 4 3

『信者たちはみないっしょにいて、それぞれの持ち物を分け合い、』使徒 2 : 4 4

『必要がある人には、財産を売り払って与えました』使徒 2 : 4 5

『毎日、神殿で礼拝をし、聖餐の時は、少人数に分かれてめいめいの家に集まり、心から喜びと感謝にあふれて食事を共にし、』使徒 2 : 4 6

『心から神を賛美しました。彼らは町中の人に好感をもたれ、神も、救われる人を毎日、仲間に加えてくださいました』使徒 2 : 4 7

どのようにこちらからあちらに行きますか？

使徒では教会の拡大を教えています。そして、教会に集う人の移転も説明します。ペンテコステで起きたことを聖霊の働きで、大きな目的を示し、それぞれの人への原語で伝道を聞いたのです。迫害が大きくなるにつれ、文化妨害がありました。たとえば、6章では、ギリシア言語のユダヤ人のやもめが差別されていたので、文句を言っていました。この問題は7人の執事を選んで、正しい文化と原語を話す人を選んで、その女性たちの必要を満たしました。どのようにその妨害を乗り越えるのでしょうか？

天国の味を少し味わう

つい最近、300人の方が全世界のフリーメソジスト教会で Zoom で集いました。九つの国翻訳があり、アジアの4人のかたが祈りを持っていき、ヨーロッパのために祈りました。中東はアフリカのために祈り、アフリカは南アメリカのために祈りました。それぞれ、各地はほかの地のために祈り、祝福を受けました。とても力強いことでした！最後に、みんな、音声をあけて、それぞれの9か国が別れを告げました。誰も帰りたくはありませんでした！長い間見ていない友人なものでした！ある人は泣いていました。そして「愛しているよ！後ほど！」と言っていました。霊的繋ぎを感じると、差別は消えて、イエスの熱情的な祈りでの答えだと知ります：『この人たちのことだけでなく、この人たちの証言を聞いて、わたしを信じるすべての人のためにも祈ります。父よ。お願いです。あなたとわたしが一つであるように、彼らも一つの心、一つの思いとなりますように。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるのと同じように、彼らもわたしたちのうちにいさせてください。それを見て、あなたがわたしをお遣わしになったことを、世の人々が信じますように。あなたが下さった栄光を、わたしは彼らに与えました。わたしと父が一つであるように、彼らにも完全な一致を保ってほしかったからです。わたしが彼らのうちにおり、あなたがわたしのうちにおられて初めて、みな完全に一つになるのです。その時、世の人々は、あなたがわたしをお遣わしになったことを知り、わたしだけでなく彼らも、あなたが愛しておられることを認めざるをえなくなるのです』ヨハネ17：20－23。

## ミッションへの行動

聖書の箇所を友人に送らしましょう。各それぞれの必要に応じてです。また、その前に主に祈り、彼らのために断食してください

### 断食と祈りの目的

- ① メソジスト教会委員と牧師たちの統一
- ② キリスト者・委員・教会のリバイバル
- ③ 5人の友人のために

祈って、断食してください：

この時期に天の父なる神様に祈ってください。

そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美：

感謝と賛美: 永遠なる天の父なる神様、あなたの愛は永遠にあります、また、あなたのやさしさは永遠です。あなたの言葉は国々を一つにします。あなたを賛美します。あなたの御言葉を通して知ったことは…

告白:あなたの聖霊が必要です。それによってあなたの真理と兄弟と一致します。なぜなら…

言葉を通して祈る: 『そういうわけで、私たちはそのことを聞いた時から、絶えずこう祈り求めています。どうか、神が何を望んでおられるか、はっきりとあなたがたにわかりますように。また、霊的なことに対する理解力が与えられますように』 コロサイ 1：9



神が何を望んでいるのか

主よ、あなたの聖霊によって愛に導かれますように。兄弟のためにも祈り続け、共にあなたの御心を見出しますように。

霊的理解と知恵

知恵をあたえてください！そうすれば、何が嘘で真実であるかを把握できます！

祈る：リーダーたちのために祈り、教会のメンバーのためにも祈りましょう。そして、今日の課題のことについても祈りましょう。

個人的願い: あなたの心を友人のように心を開いてください。



# 6 日 目 | 希望は一緒に

『たとえ二人でも三人でも、わたしを信じる者が集まるなら、わたしはその人たちの真ん中にいるからです』 マタイ 18 : 20

『使徒たちは、泊まっていた家の二階で祈り会を始めました』 使徒 1 : 14

『人の体には多くの器官があるのと同じように、キリストの体である教会にも、多くの器官があります。私たちはみな、キリストの体の各器官です。その体が形造られるには、私たちがが必要です。というのは、それぞれが異なった役割を果たすからです。ですから、私たちは互いに依存し合っており、だれもがほかのすべての人を必要としているのです』 ローマ 12 : 4 - 5

『人体には多くの部分がありますが、その各部分が結び合わされて、一つの体が成り立っています。キリストの体についても同じことが言えます。13 私たちはそれぞれ、キリストの体の一部です。ある者はユダヤ人、ある者は外国人、ある者は奴隷、ある者は自由人です。しかし聖霊は、私たちをみな結び合わせて、一体としてくださいました。私たちは、ただひとりの聖霊によって、キリストの体に結び合わされるバプテスマ（洗礼）を受け、みな同じ神の霊を与えられているのです』 第一コリント 12 : 12 - 13

『御霊によって心を一つにされるよう常に努力し、互いに仲良く暮らしなさい。私たちはみな、一つの体の各器官です。だれもが同じ御霊を与えられ、同じ輝かしい未来へと招かれています』 エペソ 4 : 3 - 4

『そしてついに、私たちは、救いについて、また救い主である神の子について同じ信仰を持つに至り、主にあって完全に成長した者となるのです』 エペソ 4 : 13

日経メソジスト教会委員会：「私たちの教会は人々を受け入れ、また、贖います。意義ある関係でつくられ、健康的な成長を（心、霊、体）でもとめ、キリストへ到達する成長と神の国への奉仕であります」。

一緒にいれば、もっと良い：孤立の嘘

アフリカの友人が「コスモビジョンの問題だね」と言われました。これは一緒に研究をしていたグループで起きたものです。友人は私が多くのミッションが支援に頼りすぎて、必要のないものまでも追及することを語りました。

彼は答えました「西洋では、誰も必要ないという言葉で成功者と思えます」。けれども、人は頼るものです。それは第一コリント12章で書かれています。目は手が必要ないと言えません。また、手は体に必要ないと言えません。頭は足が必要ないと言えません。パウロによると、次のようになります：みんなお感じ聖霊にバプテスマをうけて、体となりました。ユダヤ人でも、異国人、中国人でも、ネパルの人もです。

体は部分的にできていません。多くの形があります。アメリカ人はいうかもしれません「私がピリピ人のように受け入れないのは、体の部分ではないからです。」けれども、理由付けにはなりません。ビルマン人はいうかもしれません「インドのように教会が多くないので、体の部分ではありません」ともいうことはできません。もし、体の全体がアジア、アフリカの喜びはどこに行くのですか？もし、体が全部カナダなら、ヨーロッパに経歴はどこに行くのですか？神様は望む通りに体を創造されました。もし、みんながひとつであれば、別の面の体はどこにありますか？カンボジアの人はベトナム人にいらなるともいえないし、ヨルダン人は日本人がいらなると言えません。

### ミッションへの行動

あなたの友人を訪問し、シンプルなプレゼントを持って行ってください。食べ物でもいいです。なるべく、家族でつくられたものを持って行ってください。

### 断食と祈りの目的

別の文化の人との交流

祈って、断食してください：この時期に天の父なる神様に祈ってください。そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美：

感謝と賛美：天の父なる神様、あなたはイエスの再臨について忠実で真実であります。イエスは戻られると教会を向かえにきます。あなたの忠実を賛美し、感謝します。なぜなら、…

告白：賢い娘のように、聖霊でみたして、私の中の…を空っぽにしてください。

言葉を通して祈る：『神の約束されたものをいただきたいと願うなら、忍耐しなければなりません。キリストが再び来られる日が、これ以上遅れることはありません』ヘブル10：36，37。

天の父なる神様、混雑した世の中で、忍耐を与えてください！あなたの約束に到達できるように助けてください！あなたの御心を最後まで行わせてください！なぜなら、あなたを愛するからです！そして、再臨する方は必ず来ます！そして、証として、待つだけではなく、聖霊の力によって、あなたの再臨を早められる助けてください！

祈り：世界での伝道のために祈り、今日の祈りについてしましょう。

個人的願い：あなたの心を友人のように心を開いてください。

# 7 日 目 | 希望は一緒に

『イエスはトマスに言われました。「いいですか。わたしが道です。そして真理でもあり、いのちでもあります。わたしを通らなければ、だれ一人、父のところへは行けません』 ヨハネ 14 : 6

『その真理とはこうです。神と人間とは、それぞれ別の岸に立っています。そして、人となられたキリスト・イエスがある間に立ち、ご自分のいのちを全人類のために差し出すことによって、両者の橋渡しをされたのです。これこそ、時が至って、神が私たちに示された教えにほかなりません』 第一テモテ 2 : 5

『しかし、私たちが助けるために天にのぼられた偉大な大祭司、神の子イエスが味方になってくださるので、私たちの告白する信仰を決して失うことがないようにしましょう。この大祭司は私たちと同じ試練に会われたので、人間の弱さをよく知っておられ、ただの一度も、誘惑に負けて罪を犯したことはありません』 ヘブル 4 : 14 - 15

『イエスは弟子たちに言われました。「わたしには天と地のすべての権威が与えられています。だから、出て行って、すべての人々をわたしの弟子とし、彼らに、父と子と聖霊との名によってバプテスマ（洗礼）を授けなさい。また、弟子となった者たちには、あなたがたに命じておいたすべての戒めを守るように教えなさい。わたしは世界の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます』 マタイ 28 : 18 - 20

イエス様が彼の御言葉を別の方法で伝えることができたことを認識しますか？彼は1千年もかけて、彼自身が言葉を伝えることができました。また、デジタル時代をまち、かれのメッセージを全世界にもっていくこともできました。けれども、3年間の奉仕で、12人の弟子に力をかけました。

## 目覚めるための召し

実効的にいえば、この倍増の奇跡は私たちのすべてにインパクトを与えます「なくしたものをみつけ、弟子たちをつくり、リーダーたちを育て、教会を創設し、動きが別の動きをつくる」。そこで、メソジストとして、この考えは大切なのです。

## 悔い改めの召し

教会の経歴では本当の目覚めは悔い改めから始まるのです。何に対して悔い改めないといけないのでしょうか？

- 世界に対して、イエスの証人として矛盾していないのでしょうか？そして、教会が存在するのは仕えるためにという認識を回復することです。
- キリストの文化をたもち、失われたものを探すのを忘れたのでは？
- 私たちは伝道が社会を変える力がないと信じ、政治と力に頼りすぎているのでは？

個人的に見れば、フリーメソジストはこう考えましょう：

- 私たちは律法に力をいれすぎて、自分が作られた使命を忘れているのでは？
- 私たちは世界を暗い場所とみて、ミッションとしていけない場所としますか？

- 私たちの偽善的な謙遜がその裏で霊的上だと思いう傲慢さがあるのでは？
- 聖霊の力に対する反対が、人間の資源以上の活動としてを妨げているのでは？

このような挑戦的な質問をするのは難しいですが、私たちはこれに対して、誠実でなければいけません。神様はこの憂鬱したミッションを家庭に新しい活発、そして、神の動きとして、神の国の伝道として国にインパクトを与えます。

### ミッションへの行動

五人の友達の中で、一人選んで、祈りのグループをつくり、毎週（バーチャルか、実際に）話し合い、祈り、聖書を勉強してください。

### 断食と祈りの目的

- ① メソジスト教会の復興と教会の改革のために祈りましょう
- ② あなたと家庭の深い悔い改めを求めましょう
- ③ 5人の友人を通して、キリストの倍増

祈って、断食してください：この時期に天の父なる神様に祈ってください。そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美:

感謝と賛美: 天の父なる神様、一番高いところに存在する方へ、あなたを感謝します。なぜなら、…



告白:あなたは私の内に住みたいことを知っています。そして、そこで、聖霊によって、愛の実が生まれることを信じます。(ガラテア5:22, 23を見ましょう)。

言葉を通して祈る:『しかし、主は依然として聖なる宮に住み、天からすべてを支配しておられます。地上での出来事をことごとく監視しておられます』詩篇11:4

主はあなたの神殿にいて、天に私の大祭司であるイエスがいることを感謝します。彼は私のために祈っていることを感謝します!

主は天に王座があり、そして、イエスが教会・家庭・個人的に對しての奉仕を理解したいです。あなたの聖霊を渡してください! 真理の導き者!

祈り:知恵をもって祈る相手を選ぶように祈ってください!また、今日の祈りの課題についてでもです。

個人的願い:あなたの心を友人のように心を開いてください。

# 8 日 目 | 世界的運動

『そして神は、すべてをキリストの足の下に従わせ、キリストを教会の最高のかしらとされました。ですから教会は、キリストの体であって、すべてを造り、すべてを満たすキリストの霊が満ちあふれるところです』エペソ1：22、23

『しかしあなたがたは、シオンの山に近づいているのです。そこは生ける神の都、天にあるエルサレムであり、無数の天使たちが楽しげに集う所です。またあなたがたは、天に登録されている人たちの教会、すべてをさばく神、すでに完全なものとされて天にいる、救われた者たちの霊に近づいているのです』ヘブル12：22、23

『わたしの右手にある七つの星と、七つの金の燭台の意味を教えましょう。七つの星は七つの教会の指導者たち、七つの燭台は七つの教会を指します』黙示録1：20

伝道：私たちはイエス・キリストの伝道をすべての人に施し、新しい教会をたてることを試み、そこで、神の国と神の価値観を広めるためです。

もう一度、運動となるために

これはイエスに対する初期の愛を取り戻すことです。個人的に確信を持ちます。これは私たちに大切なものです。この何週間もの間で、パウロがこれに対して何度も言っているのをわかりました。

『イエス・キリストと、その十字架上の死以外は語るまいと決心したからです』第一コリント2：2・『私はキリストと共に十字架につけられました。もはや、私自身が生きていたわけではありません。キリストが、私のうちに生きておられるのです。私のためにご自身をささげてくださった神の御子を信じた結果、今、私のうちにはほんとうのいのちが与えられています』ガラテア2：20・『私にとって生きることは、キリストのために良い機会を得たことを意味し、死ぬことは、さらにすばらしいことを意味するからです』ピリピ1：21。

私たちも弟子となる責任を見出さなければいけません。Winfield Bevins氏はWesleyが小さいグループで弟子づくりをして、新しいリーダーを育成し、運動を大きくしました。「弟子として高い責任感と、多くのリーダーたちに見舞われて、メソジストは始めました」。

特例な信者だけが伝道ができる考えはやめてください。ルターは「全聖徒たちが大祭司」です、といました。また、教会も「すべての信者は奉仕者」ですと言います。それ以上、すべてのキリスト者にはミッションがあるのです。(Keith Cowart)

## イエスの道

イエスの道はマタイ9：35とマタイ10：1で語られます。その時、イエスは弟子たちを訓練され、モデルとなり、彼らも同じようにするようにと教えました。それを考えて、次の言葉を発しました『また、弟子となった者たちには、あなたがたに命じておいたすべての戒めを守るように教えなさい。わたしは世界の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます』マタイ28：20。この箇所について時間をつかって瞑想してください。そして、祈りながら、どのように神様はこれに対して答えてほしいかを把握してください：

イエスは人々から離れませんでした。いや、かえって人が見えるところにいったのです。彼はどのようにしてイエスを知らない人と共にいるかをいつも考えていました。

### ミッションへの行動

聖霊のともしびを常にあなたの家族で光らせ、祈りと聖書を朗読を保ちながら。

### 断食と祈りの目的

- ① フリーメソジスト日経委員会のプロジェクトと挑戦のために、そして聖霊の運動となるように祈ってください
- ② 弟子を育てる心がけ
- ③ 友人たちがこの聖霊の運動に参加するように

祈って、断食してください：この時期に天の父なる神様に祈ってください。そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美:

感謝と賛美: すべてご存じの父なる神様、フリーメソジスト日経委員会について何が起るかをもう知っているかた。この試練のなか、世界に伝道をするように挑戦づけました。私はあなたを感謝します、なぜなら・・・

告白: 私はイエスの再臨を愛するものになりたいのです。ですから、あなたに頼むのは・・・

言葉を通して祈る：『その時、彼はこう言いました。|あなたは、多くの人々、国民、民族、王について、もっと預言しなければなりません』黙示録10：11

もっと預言しなければ

あなたを賛美します、主よ。あなたの約束と忠実さを。そして、その約束にあずかられたことを。多くの救われた民と一緒に参加できて感謝します。あなたの教会をもう一度リバイバルしてください。あなたの聖霊を燃やし、伝道がすべての人に延べ伝えるために。イエス様、早く戻ってください！

祈り：フリーメソジスト日経委員会のため、リーダーたちのため、牧師たちのためにいのってください。

個人的願い：あなたの心を友人のように心を開いてください。



# 9 日目 | 天来のメッセージ

『というのも、永遠の救いという神からの一方的な恵みは、だれにでも提供されているからです。しかも、この恵みをいただくと同時に、神が私たちに望んでおられることも実現するのです。それは、神を認めない生き方と罪にまみれた快樂とを捨て去って、日々神を敬う正しい生活を送ることであり』 テトス 2 : 11、12

『私たちが神の敵であった時でさえ、ひとり子の死によって、神のもとに連れ戻されたくらいですから、私たちが神の友となり、神が私たちのうちに生きておられる今は、どんなにかすばらしい祝福が備えられていることでしょう』 ローマ 5 : 10

『こうして、真理を拒んで滅びへの道进行者たちを、すっかりとりこにします。その人たちは、真理を信じることも愛することもせず、救われようなどとは考えもしませんでした。そこで神は、彼らがだまされるままに放っておかれるのです。真理を信じないで、罪を犯すことを楽しんでいた彼らに、さばきが下るのは当然です』 第二テサロニケ 2 : 10 - 12

『神が望んでおられることは、あなたがたがきよくなることです。ですから、あらゆる不品行の罪を避け、きよらかな品位ある結婚生活を送ってほしいのです。神を知らない異教徒のように、情欲におぼれてはいけません』 第一テサロニケ 4 : 3 - 5

完全なきよめは最初のフリーメソジスト教会の旗でありました。Benjamin Titus (B.T.) Roberts は教会の創設者で、ジョン・上スレイが新薬のキリスト教を回復したいのを受け継ぎました。フリーメソジスト教会は清めをいつも求めました。

フリーメソジストは「清めをもとに命が生まれる」ということです。心と考えの改革で、神様を愛し、隣人を愛することは神の子の役目です。ですから、私たちの運動は、清めを投げ捨てることはおろかなことで、エサウが祝福を投げ捨てるようなものです。（創世記 25：19－34を参照ください）

### 言葉は殺す

清めについて勉強していくと、フリーメソジストはこれに対しての教訓を作りました。けれども、この中で律法に入ってしまう人もいました。（また、別の方向もあります。それはあまりにも自由にすぎることです）。

例えば、あるルールはタバコ、薬物や、アルコール、遊び、言葉に対して罰を与えました。シンプルな服と、ビジネスの中で誠実で、日曜日を厳しく守り、礼拝、祈り、聖書朗読と献金に対して厳しいのです。これによって、役目をつくられ、新しい信者と経験ある聖徒に清めにいきるように指示をしました。

ルールの問題はルールが増えていくことです。

## 聖霊は命を与える

キリスト物が神様に信仰によって捧げると、自分は死に、完全に献身を行います。聖霊は私たちの心を満たし、罪から解放します。この関係は割れた決断をもった心を癒し、心を神様に向けます。そして、神様に仕え、感謝をします。ですから、神様は民を解放し、心から愛するようになります。そして、他人を自分のように愛させます。

聖徒（キリストによって選ばれた人をこう呼びます）たちは罪のない時期もあります、悔い改める時期もあります、そして、神の奉仕に定められます。ある人は悪循環・性欲・自己中心から素晴らしい解放があります。一瞬に神様の力を感じ、清められ、完全に変えられる人もいます。ある人には、悪い経験は聖霊の命にいきる出発点でもあります。また、ある人にはそれほどぶれた霊的生涯がなく、継続的な成長と恵の成長があります。

ある宗教の記事に清めについてこう書かれていました：私たちは愛で満たされ、罪から清められます。神様は私たちの割れた決断を癒し、心を正します。そして、神様に奉仕に仕えるために力を与えます。清められた民は神様をすべてを通して愛し、隣人を愛します。これは信仰の改革です！



新約聖書はこれを聖霊の臨在を実（ガラテア 5：22－23）と表します。また、賜物（第一コリント 12：7－11）とも言います。二つとも一緒にすると、教会にこの二つが聖霊によって生きられ、明確であるように願います。

### ミッションへの行動

あなたの言葉を通して、清めに入ってください。今日、家庭の中で言葉に気を付けて、行動をとりましょう。

### 断食と祈りの目的

- ① 世に対しての解放
- ② 神様との交わりと人々との交わり
- ③ 5人の友達のために祈る

祈って、断食してください：この時期に天の父なる神様に祈ってください。そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美：

感謝と賛美：永遠なる天の父なる神様、私をイエスの恵によって救われたことを感謝します。それは彼の十字架によってです。ですから、私は感謝するのは…

告白：あなたの愛と感謝により、サタンが私に要求するものから解放してください。なぜなら、あなたの御声が聞こえないからです。

言葉を通して祈る：『彼は大声で叫びました。「神を恐れ、神をほめたたえなさい。神のさばきの時が来たのだ。天と地と海とその源を造られた方を礼拝しなさい』黙示録 14：7

神様を恐れて、彼に栄光を

天の父なる神様、聖霊を感謝します。なぜなら、聖霊が私に清めに生きることをさせるからです。

裁きの時が来たのだ

あなたに忠実であるように。それは、もう、救われたからです。

創造主を崇める

私のすべてであなたを崇めたいです。特にイエスによって教えられた清めについて生きていきたいです。

祈り:今日の祈りの課題のため。また、ソーシャルメディアともっと清められるために。

個人的願い: あなたの心を友人のように心を開いてください。

# 10 日目 | 最終贖い

『愛する皆さん。私たちは、このようにすばらしい約束を与えられているのですから、肉体と霊を汚すすべてのものときっぱり縁を切って、自分をきよめようではありませんか。そして心から恐れかしこんで、神だけに自分をささげようではありませんか』第二コリント 7：1

『争いを避け、きよい生活を追い求めなさい。きよくない人は主を見ることができないからです』ヘブル 12：14

『ああ神よ。私の心を探り、内面を調べ上げてください。あなたを悲しませるようなものがあるなら、教えてください。私が永遠のいのちへの道からそれないようにお導きください』詩篇 139：23-24

『しかし今は、罪の力から解放されて、神に仕える者になりました。そして、神があなたがたに下さる恵みによってきよくされ、永遠のいのちが与えられているのです』ローマ 6：22

『ですから、あなたがたは、天の父が完全であるように完全でありなさい』マタイ 5：48

## 旅の恵

ウエスレイ神学はポジティブな神学と呼ばれています。なぜだと思いませんか？それは恵が心を変えることを信じるからです。神様はこの旅に必要なものをすべて与えました。それは聖霊が選択の自由の中で、神様と面会するまでに道しるべとなるのです。

ウエスレーは救いの道に関して、恵を通して働きかけ、心を神様へ開くようにします。神様の恵は素晴らしく、私たちの罪を認識し、神様の癒しを受けます。義の恵は、信仰によって神様との関係をつくります。それはイエスの完璧なる御業によってです。心変えられ、神様の子として受け取られました。ジョン・ウエスレーは神様の恵を清めの恵と成長しなければいけないと語ります。「そのためにメソジスト教会を神様はたてたのかもしれませんが」と言われました。神様は私たちを聖徒だけではなく、応対することによって清められます。その清めのあらわれは愛です。

清めだけではなく、社会の清めも

人間関係は家庭と友人だけではなく、すべての人に分け与えるのです。イエスは言いました『隣人を愛し、敵を憎め』とは、よく言われることです。しかし、わたしは言います。敵を愛し、迫害する人のために祈りなさい。それこそ、天の父の子どもであるあなたがたに、ふさわしいことです。天の父は、悪人にも善人にも太陽の光を注ぎ、正しい人にも正しくない人にも分け隔てなく雨を降らせてくださいます。自分を愛してくれる人だけを愛したからといって、取り立てて自慢できるでしょうか。悪人でも、そのくらいのことはしています。気の合う友達とだけ親しくしたところで、ほかの人とどこが違うと言えるでしょう。神を信じなくても、そのくらいのことはだれでもします。ですから、あなたがたは、天の父が完全であるように完全でありなさい』マタイ5：43-48。

ウエスレーは霊的旅は一筋の道で、恵の成長はいつも偉大で、社会改革も起こします。一緒にあがめて、祈り、告白し、許すと、「愛によって信仰が試されます」。あなたの人生の証は社会運動で示されます。それは奴隷解放や、社会の改革に働きかけます。これは清めの結果でもあります。

### ミッションへの行動

あなたの5人の友人を家に招き、それとも、教会に招き、一緒に食べて、祈り、聖書を勉強してください。毎年起きる委員会の礼拝にも連れて行ってください。

### 断食と祈りの目的

- ① 私たちの人生、家庭、教会で聖霊の働きがありますよう
- ② 五人の友人のためにも

祈って、断食してください：この時期に天の父なる神様に祈ってください。そして、次の祈りのモデルを使ってください感謝と賛美:

感謝と賛美: 天の父なる神様、この10日間を感謝します。そして、あなたとの交わりを感謝します！ありがとう！なぜなら、この10日間で覚えたのは…

告白: 私はイエスを個人的救い主とうけ、毎日彼と歩みたいです。ですから、私の…をつづけて変えてください。

言葉を通して祈る: 『さあ、神に立ち返り、愛と公正の原理に立ちなさい。いつも、あなたの神に期待しなさい』 ホセア12:6

神に立ち返りなさい

主よ、毎日、聖霊の力によって、私の心をかえてください！

愛と義を求め続けなさい

あなたに愛と義が見られます。私の内に宿り、あなたの御言葉通りに生きさせてください。私を清めに歩むことができますように。

あなたの神をいつも待ち望みなさい

聖徒の忍耐をあたえてください！なぜなら、主を待ち望むものは幸せで、素晴らしい希望を持ちます「イエスさま、帰ってください！」

祈り:フリーメソジスト教会日経委員会の復興と改革のために祈ってください。そして、イエスの再臨のために祈ってください。また、今日の課題の祈りについてもです。

個人的願い: あなたの心を友人のように心を開いてください。

# まず、かみ の国を

神の国と神の義を、まず、求めなさい...

 **metodista  
livre**  
Concílio Nikkei

*J. J. J.*  
STUDIO